



国際・情報

INTERNATIONAL & INFORMATION

新潟国際情報大学広報 第15号

〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 tel 025-239-3111 fax 025-239-3690 E-mail somu@nuis.ac.jp URL <http://www.nuis.ac.jp>



告 辞



新入生の皆さん、ご入学おめでとう。本日ごに入学式を挙げるに当たり、新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表し、心からお祝い申し上げます。

この度の入学は皆さん自身にとつての喜びであることは申すまでもありませんが本日ご列席下さいましたご父兄の皆様も大層お喜びの事と存じております。

そして、若さに溢れた前途有為の皆さんを迎えることができるわが大学にとりまして大変な慶びであります。

この度、本学に入学を許された皆さんは情報文化学科一三〇名、情報システム学科一九四名、合わせて二三四名であります。

本学は大学設置基準の大綱化、即ち大学規制緩和の中で、二十一世紀に向け、平成六年四月に開学した新しい大学であります。

日本文化の理解と認識を基に、国際的視野を持ち、情報、人文社会科学の分野で役立つ、意欲ある、健全な心を持つ、個性豊かな人物を育成するのが目的であります。

そして情報文化学科では外国語の習得と共に、わが国の文化と対比しつつ、異文化を理解、認識し、人文社会科学の立場から役立つ人物を養成する事を目指し、情報システム学科では英語の習得と共に、グローバルに広く構築されつつある情報システムの理論と実際を学び、その能力を社会で活用しうる人物の養成を目指しています。これら両学科での教育のため、教員の中には、国内企業での豊かなキャリアを持った教員、国外四か国出身の教員の人達もおります。

同時に両学科での基礎、共通科目を通しての教

養教育による人間形成を心掛けております。

本学の目指す所をご理解頂きたいと思ひます。新入生の皆さんの中には社会人入学の人もありますが、高等学校を卒業して直ちに本学へという人が多いようでもあります。

最近では高等学校までの教育においても、生徒自らが考える事に力が入られていますが、それでも先生が教えるという立場が強かったのではないのでしょうか。

然し、大学生活の中では、皆さんが自ら考え、自ら発言し、自ら行動するという内発的な自主性を強く生かして下さい。

そして、勉学は勿論の事、何事に対しても、その結果については説明できる責任を持たなければなりません。

我々日本人は集团的志向の強い国民と言われ、これには悪い意味も良い意味もありますが、人生、流れに身を任せて生きるのではなく、自らの価値観を持ち、自分の意志で考え、努力しようではありませんか。

これからの学生生活の中では嬉しい事や楽しい事も沢山あるでしょうが、時には悲しい事や悩む事、失敗する事があるかもしれません。然し、皆さんは若いのです。サミエル・ウルマンはその書「青春」の中で「優れた想像力、逞しき意思、燃ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てたる冒険心、こつこつ様相を青春というのだ」と申しております。

そして、人生は戻ることのない片道切符の旅です。一日、一日を大切に、精一杯羽ばたいて、悔いのない、充実した人生を送って下さい。

二十一世紀は「教育と知識の時代」と言われています。そして、大学教育は人生を通じての生涯学習の中で柱となる所でもあります。

また慶応義塾大学の創始者、福沢諭吉氏は「学問のすすめ」の中で「学問は事をなすの術なり実地に接して事に慣るるにあらざれば、決して勇力を生ずべからず」と申しております。

これからの勉学の中で、将来は職業に就くことと大学院に進もうと、卒業までには、自分の進む道に対応できる能力を備えることを期待しています。

何故大学に入学したのか、将来何を目的とするのかもしつかりと意識するよう心掛けて下さい。

第二次世界大戦後の疲弊から脱却し、目覚まし

い発展を遂げた日本経済も今や沈滞し、諸外国から経済政策の失態を非難されていますが、日本国民の工夫と努力により、暫くの期間を経て、回復するものと信じています。

然し、紛争の二十一世紀と言われる如く、文明の衝突、民族間の抗争、かつての宗主国の人達と土着民族の人達との争いなど、地球上各地での紛争は絶えず、そのため飢えに苦しむ人達が少なくありません。

それ故、地球上の安全保障も大切な事です。幸い皆さんは本学で国際化、グローバルな情報化を基本とした教育を受け、学習することになります。将来はそれぞれの立場で、どの様に人類の幸せに貢献する事ができるか、これからの学生生活の中で考えて欲しいと思います。

寒かった冬も去り、待ち遠しかった桜咲き、柳枝垂れる春となりました。

人情厚く、コスモポリタンの気風に溢れたこの新潟の地において、皆さんは大学生活を送る事になりました。皆さんが勉学に勤しみ、学生生活を謳歌し、人間性豊かで温かい心を持った社会人に成長される事を心から期待し、皆さんを迎える言葉とさせていただきます。

平成十四年四月五日

新潟国際情報大学長

武藤 輝一



お祝いの言葉



本学を受験され、晴れて入学を許可されました新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を、心から歓迎申し上げます。

皆さんが過ごされるこれからの四年間は、勉学に専念できる最後の機会です。古代中国の学者である韓子は、「教育こそ百年の計だ」という言葉を残しています。趣味や運動に励むこともたいへん意義のあることですが、生涯で最も大切な勉強期間であるこの四年間、一生懸命に勉強し、悔いのない学生生活を送ってください。本学の先生方は、皆さんと一緒に勉強しようという熱意に溢れた方ばかりです。胸を借りるつもりで全身でぶつかっていきましょう。将来、皆さんが社会人として働くようになったとき、必ず役に立つことと思います。

私も皆さんと同じように大学生活を経験しましたが、スポーツに熱中するあまり勉強をおろそかにしてしまったことを後悔しています。しかし、若い頃から身体を鍛えてきたおかげで、まもなく八十六歳を迎えようとしている今も、皆さんに負けないぐらい元気です。また、今でも毎日、どんなに遅くなっても必ず本を読むことにしています。皆さんもぜひ読書の習慣を身につけて、多くの本を読み、さまざまな知識を得ていただきたいと思います。

皆さん、場々たる未来に向かって、健康に留意し、努力を惜しまずに、力強く歩き出してください。皆さんのご入学を心よりお祝い申し上げます。健康をお祈りして、お祝いの言葉と致します。

平成十四年四月五日

(学)新潟平成学院

理事長

小澤 辰男

わたしの抱負

本日は私達新入生の為にこのような素晴らしい入学式を挙げていただき、また心のこもったお言葉をいただきありがとうございます。

昨年は二十一世紀最初の年ということで、皆一様に希望あふれる年となるよう期待しておりましたが、奇しくも、米国での同時多発テロ事件を筆頭に様々な暗いニュースが世間を騒がせました。

このような暗く混沌とした時代の中で今、求められるものは、国内から世界へ、そして、地球規模での国際的な進歩と調和ではないかと私は思います。

また、世の中にはまだまだ対処しきれないその他の問題が多々見受けられます。ますます悪化していく環境問題、見えない悪質な犯罪が増加している一ト問題、高齢化にもなる福祉の対応の遅れなど。これらの問題に対応できる国際人になれるよう、各々が己の目標・学業の向上、人間形成に励み、本学での四年間の生活が私達にとって意義深いものに、また、充実したものになるよう、しっかりと頑張っていきたいと思えます。

最後に本学で学んでいくにおいて、本学の理念を尊重し、まだ未知に包まれてはいるものの、希望あふれる未来に向かって行く中で、自分の可能性を見出せるよう、また、大学生であると同時に一人の社会人としてこれからの社会に貢献できるよう努力を惜しまず務めることを誓い、入学の御挨拶とさせていただきます。

平成十四年四月五日

新入生代表 情報文化学部 情報システム学科 伊藤洋平



歓迎の言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今日から新潟国際情報大学の学生として新生活が始まりました。

今、皆さんの胸の中には何があるでしょうか。新生活への期待でしょうか。高校とは異なつた空間への不安でしょうか。それぞれ抱く思いはさまざまだと思います。

本田技研創設者、本田総一郎氏はこう言いました。“チャレンジして失敗を恐れるよりは、何もしないことを恐れる”。

また、京セラの会長の今盛和夫氏はこうも言っています。

“瞬間瞬間を完全燃焼すること、その点の連続が未来につながる”。

この言葉を聞いて、皆さんはどう思つてでしょうか。大学とは学生でいられる最後の時間だと思えます。大学でやりたいことがあるならば、やり遂げてください。

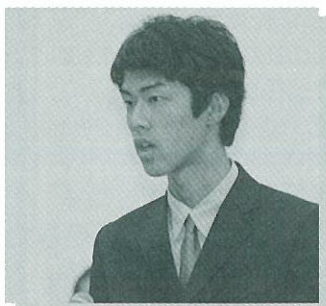
大学でやりたいことが見つかったならばやり遂げてください。それがやがて財産になると私は思っています。そのやりたいことが、勉強であつたりサークル・クラブであつたり、個人個人違うと思います。

私は皆さんに後悔のない学生生活を送って欲しいのです。やるべきことはもちろん、やりたいことはしっかりとやり遂げてほしいのです。

最後になりましたが、本学、新潟国際情報大学へようこそ!!

平成十四年四月五日

在学生代表 情報文化学部 情報文化学科 高橋 平



雑感

学習指導委員長

原口武彦

本年度から二年間、老骨ムチ打つて学習指導委員長をつとめることになりました。本学では九年前の開学以来、学生たちの学業面の世話をするこの委員会は「学習指導委員会」と呼ばれてきましたが、県内の他大学では同様の役割を担う委員会を、学務委員会または教務委員会と呼ぶのが一般的なようです。たとえば、近所の新潟大学では、教務委員会、学業の面だけでなく学生の厚生面(本学では学生部委員会に担当)まで含めて学生生活全般について統括的に担当する委員会の場合には学務委員会と呼ばれています。

教務、学務にくらべて学習指導という呼称は、ハチ以上の若者たちの教育を行う大学としては幼っぽい感じもします。「大学に入っても、まだ学習させられるのかよ」「まだ指導されるのかよ」と感じる学生もいることでしょう。それにもかかわらず、本学ではなぜこのような名称が採用されたのでしょうか。そこには初代学部長の浦昭一先生の大学教育観、教養観が反映しているものと、私は勝手に解釈しています。教員は事務局と二階に単に教務を司るだけでなく、学生たちの学習を指導しなければならぬという思いがこめられているのではないのでしょうか。

「大学に入っても、まだ学習し、指導されるのか」と訝る学生たちの前に「そのとおりだ」といって毅然として立つ教員の責務が表現されていると私は解釈しています。教員として学生たちの言動の中に感じとれる未熟さを、「私はいろいろな点でまだお前を一人前とは認めない」ということを、日常的な場で率直に指摘し対決すること、ひょっとするとこれは現代の学生たちも求めていることかもしれません。大学教育「筋で生きてこられた浦先生に、私は教員として自負と責務と大いにまなばさせていただきます。

もっともかくいふ私ですが、本学のイキのいい若手教員たちにはいわせると、私の学生たちに対する接し方は、孫を溺愛する好々爺そのものであつて、教育指導になつていないと厳しいお叱りをうけることもたびたびなのですが。

さて指導といふ以上どのような理念にもつて、どのような目標に向かってそれを行うのかという問題がでてきます。そこで思い出されるのは、内山秀

夫初代学長のおことばです。本学はどんな学生を育成することを目標にするのかとの問いに対して、内山先生は、何れともあれ学生たちが元氣ハツツとして実社会に巣立つて行くこと、そういう元氣にあふれた学生を育成すること、表現は正確ではありませんが、そのようなことをよく口にされていました。これは私流に解釈させていたければ、大学教育は、ただいたずらに学生たちのエネルギーを消費させるものであつてはならないということでしょう。私のイメージでは、学生たちをマッソン・ランナーにたとえれば、教員は伴走者です。だから、彼らがとにかく何かに向かつて走りだしてくれないと、彼らが立ち止まつつてくままつてしまったら、指導もお手上げです。

幸が不幸か、本学ではあの過酷な受験勉強を巧みにかわして入学してきた学生がほとんどです。入学時に受験勉強に疲れて虚脱状態になっているという学生はほとんどいません。十年ぶりに書物らしい書物を読んだと豪語してはばかりない学生もいます。しかし、ときとして、そんな彼らの中にまだ磨かれていない原石の魅力を感じさせてくれる学生もいます。青少年の暴力問題にかかわるテレビの自主規制についての議論で、私が「水戸黄門」のファンであることを知つて、「でもねえ先生、だったらどうしてあの印籠を暴力沙汰がおきる前に見せないんですか。」と発言して私をたじろがせた学生もいます。しかし、四年間の大学生活で、学生たちの本源的なエネルギーを引き出し、それを損なつたり、暴発させることなく持続増大させるということは、かなりの難題です。画一的な指導は、彼らのエネルギーを無為に消費させかねません。それぞれ千差万別の学生一人一人の個性、体力に見合った指導でなければなりません。幸い本学の少人数クラス制は、ある程度それが可能な体制だといえるでしょう。

厳格な学習指導と元氣印の若者の育成、一見、現代社会では二律背反に映する二つの目標の達成。それはことばをかえていえば、二十世紀の若者が身につけるべき真の知性の確立といふことなのでしょう。それは教員と学生との真摯な対決、専門、芸風がさまざまに異なる老若男女の教員たちの経験の交流と相互批判、それらをねばり強く続けていくことで、本学において達成可能であると、私は信じているのですが。



Questionnaire

- ①NUISを選んだ理由 ③これからの抱負
②NUISの印象 ④ひとこと

アンケート 新入生特集

4月から新しく仲間いりした8人の新入生に、NUISの印象や抱負を語ってもらいました。アンケート内容は以下のとおりです。

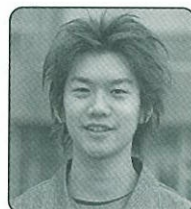


なまえ 天野まゆみ

出身校 福島県立相馬女子高等学校

学 科 情報文化

- ①国際化と情報化の両方に対応したカリキュラムがあったから。
②新しくてきれい。
③英語を上達させたい。コンピュータ関係の資格も取りたい。
④まだ不安もありますが、充実した大学生活を送りたいです。

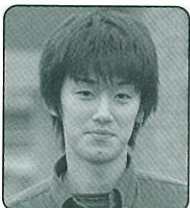


なまえ 石丸大志

出身校 新潟県立三条高校

学 科 情報文化

- ①他国の言語や文化を学び、異文化理解や国際理解を深めたいと思ったから。
②のどかでのんびりとしていて快適、先生も親切で雰囲気がとても良い。
③大学生活を豊かで有意義にし、自分自信を向上させていきたい。いろんな体験をしたい。
④CEPという授業がすごく楽しいです。これを機に英語力をつけて将来外国に行ってみようと思っています。



なまえ 桑田和征

出身校 新潟市立高志高校

学 科 情報文化

- ①国際化、国際言語について学べるから。
②設備が充実していて建物がとてもきれい。
③色々な事に挑戦していきたいと思う。
④不安がたくさんあるけど、挫折しないで頑張りたいです。

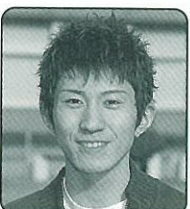


なまえ 高橋若菜

出身校 山形市立商業高校

学 科 情報文化

- ①就職率がよいから。最近の設備があるから。中国語を重点的に学べると思ったから。
②他の大学に比べて先生方との距離が近いと思った。学生のほとんどが新潟県内の人で少し戸惑った。
③英語や中国語をすらすらと話せるようになりたい。勉強とバイトを両立させたい。
④新潟は海も近くとても楽しいところだと思った。

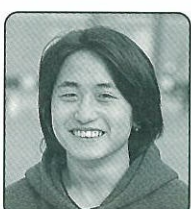


なまえ 安沢亮介

出身校 新潟県立新潟西高校

学 科 情報システム

- ①今の時代コンピュータを使えないと就職にひびくと思ったから。
②大学にしては小さい。でも施設はきれい。
③早くコンピュータを使いこなせるようになりたい。
④友達をたくさんつくりたいです。



なまえ 伊藤弘毅

出身校 福島県立福島東高校

学 科 情報システム

- ①本格的にコンピュータを学んでみたかったから。
②建物がとてもきれい。施設が充実している。
③バイトと勉強をがんばる。最終的には資格をいろいろとりたい。
④福島と気候が似ていて生活しやすい。剣道を長く続けていたので剣道部がないのでとても残念だ。やってる人がいたら声をかけてください。



なまえ 若杉麻実

出身校 新潟県立新潟中央高校

学 科 情報システム

- ①情報化の現代、コンピュータが使えるということはこれくらいかしていけると思ったから。
②建物がキレイ。学内を歩いてみて、思ったよりも広がった。
③コンピュータはあまり慣れていないので不安もあるが早く使いこなせるよう頑張る。
④思い出に残る大学生活を送りたいです。



なまえ 渡辺悦子

出身校 新潟県立北越高校

学 科 情報システム

- ①苦手なパソコンを使えるようになりたかった。
②きれいで広々していて公共施設の様。
③楽しく充実した大学生活を送る。
④自然がいっぱい。空気がきれい。

平成14年3月卒業生就職決定状況

新潟国際情報大学の学生は「国際的視野」と「情報技術」そして「社会への適応能力」を持ったバランス感覚の良い学生です。

〔学生の特徴1〕

国際化、情報化に対応できる能力

〔学生の特徴2〕

高いコミュニケーション能力

〔学生の特徴3〕

向上心を持って自ら学ぶ姿勢

■職業別就職決定状況

| 業 種 区 分 | 今 年 |
|----------|--------|
| 国家公務員 | 3.0% |
| 地方公務員 | 2.0% |
| 建設業 | 4.0% |
| 製造業 | 8.0% |
| 電気・ガス業 | 0.5% |
| 運輸・通信業 | 1.5% |
| 卸・小売業 | 31.0% |
| 金融・保険業 | 3.5% |
| 情報・サービス業 | 46.5% |
| 合 計 | 100.0% |

■就職決定先本社都道府県別

| 区 分 | 今 年 |
|-----|-------|
| 栃 木 | 0.5% |
| 千 葉 | 2.4% |
| 東 京 | 17.8% |
| 神奈川 | 2.9% |
| 富 山 | 1.4% |
| 石 川 | 1.4% |
| 長 野 | 1.0% |
| 愛 知 | 3.4% |
| 京 都 | 0.5% |
| 大 阪 | 1.4% |
| 岡 山 | 0.5% |
| 埼 玉 | 0.5% |
| 新 潟 | 66.3% |
| 合 計 | 100% |

県内:66.3%
県外:33.7%

■就職指導新体制

就職指導委員会では、きめ細かな指導と充実した資格取得支援体制でバックアップしています。

委員長 宗澤 拓郎 教授 (情報システム学科)

委 員 広瀬 貞三 助教授 (情報文化学科)

委 員 安藤 潤 講師 (情報文化学科)

委 員 大竹 康夫 教授 (情報システム学科)

委 員 桑原 悟 助教授 (情報システム学科)

佐々木 辰弥 (事務 就職課長)

片野 博之 (事務 就職相談室長)

片桐 徹 (事務 就職課主任)

小見 和子 (事務 就職課員)

様々な相談に親身になって応えます。就職課や担当の教員に何でも相談しましょう。

留学制度

本学では情報文化学科・情報システム学科の両学科で言語能力の向上と異文化理解を深めることを目的に留学制度を設けています。留学費用については一部奨学金が与えられます。詳細については説明会で確認して下さい。

| 学 科 | 留 学 生 | 期 間 | 主な対象 | 修得可能単位 | 大 学 の 紹 介 |
|-----------------|-----------------------------|-------------------------|------|--------|--|
| 情 報 文 化 学 科 | アメリカコース ノースウエスト・ミズリー州立大学 | 2002年 8月16日～9月20日 | 2年次生 | 6単位 | http://www.nwmissouri.edu/ ノースウエスト・ミズリー州立大学は、3カレッジ22学部を持つ総合大学です。アメリカ中西部の大都市であるカンザス・シティから自動車で1時間半くらいのところにあるメリーヴェルという静かな町にあります。 メリーヴェル自体がノースウエスト・ミズリー州立大学を中心に作られている典型的な学園都市です。 |
| | 韓国コース 慶熙大学 | 2002年8月下旬 2002年12月下旬 | 2年次生 | 18単位 | http://www.kyunghee.ac.kr/ 慶熙(キョンヒ)大学は韓国の首都ソウルにある名門私立大学で、1999年に開校50周年を迎えました。10学部、9大学院を持つ総合大学であり、世界50ヵ国、150校と姉妹関係を結ぶ国際交流を重視する大学です。特に、外国人向けの韓国語教育は高い評価を受けています。 |
| | ロシアコース 極東国立総合大学 | 2002年9月上旬 2003年1月上旬 | 2年次生 | 18単位 | http://www.dvgu.ru/ 1899年に創設された東洋大学を祖とする国立総合大学で、ロシア極東最大の有名校です。総合大学には、19の単科大学、約40の学部があり、学生数は17,000人、教員数は約890人います。寮はロシア語学校と廊下で直接結ばれており外国人用の特別なフロアを設けて治安に留意されています。なお、ウラヂヴォストーク市は日本海に面した港町で東洋のサンフランシスコと称され、冬の気候も比較的温暖です。 |
| | 中国コース 北京師範大学 | 2002年9月3日～ 2003年1月上旬 | 2年次生 | 18単位 | http://www.bnu.edu.cn/ 北京師範大学は、北京大学、清華大学と並び、中国の伝統ある名門大学で、多くの学部や研究所を持つ総合大学です。立地は北京市の中心部にあり、唯一北京市内にある大学ですので、生活や社会見学にも大変便利です。また、大学キャンパス内にある留学生寮に宿泊するので安心できます。 |
| 情 報 シ ス テ ム 学 科 | カナダ・ アルバータ州立 大学 | 2002年 8月4日～9月9日 | 2年次生 | 6単位 | http://www.ualberta.ca/ アルバータ大学はカナダのアルバータ州の州都エドモントンにある総合大学です。そして、このセミナーはアルバータ大学の生涯教育学部が窓口となっています。生涯教育学部の重要な任務の一つは、非英語圏から来た学生に英語教育を行い、専門学部の授業を受けられるようにすることです。そのため、年間を5期(Term 1-5、6-10weeks)に分けた定期プログラム(English class)を運営しています。したがって、今回の夏期セミナーの「英語V」も定期プログラムのノウハウや実績を基に実施されることになるので、教員の質、授業内容とも良好です。また、通常専門の授業は専門学部の協力が必要ですが、アルバータ大学の生涯教育学部には情報(IS,IT)の担当者がいるため、夏休み中で学部が休暇中でも「北米社会と情報」の講義は実施可能となっています。なお通貨はカナダドルなので米国に比較し経費が安く抑えられることや、州都で都市機能が完備しており、安全な北米の都市型生活を自ら体験できるなど、多くのメリットがあります。 |

新任教員紹介

長坂 格 (情報文化学科)

担当科目 異文化理解、社会調査、開発論

専門分野 社会人類学、移住研究、東南アジア地域研究

経歴 国際基督教大学教養学部 卒業
筑波大学大学院 地域研究科修了
神戸大学大学院 文化科学研究科単位取得退学
神戸大学大学院 文化研究科助手



●学生に向けて一言

新潟に住むのは初めてです。新潟の情報、色々教えてください。

大竹康夫 (情報システム学科)

担当科目 情報産業、情報システム特論、情報処理演習(A)、基礎演習1.2、情報システム演習1.2、専門演習文、卒業研究

専門分野 システム設計と教育システム

経歴 1964年 東京大学理学部物理学科卒業
2000年 東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程後期満期退学
1964-1989年 NEC中央研究所およびC&Cパブリックシステム本部勤務
1989-2002年 NECユニバーシティー勤務
この間、(財)未来工学研究所に出向し、また、文教大学人間科学部非常勤講師を務める。



●学生に向けて一言

チャレンジ!自分にとって常にチャレンジングな道を選んで自らを変えて行きましょう。
NUIISは自らの可能性を大きくすることが出来る場です。

刈部恒徳 (情報システム学科)

担当科目 英語

専門分野 英語史、英語辞書学、語源学、中世英語、英文学

経歴 新潟大学文学部 卒業
東京都立大学大学院英文学専攻修士課程修了
東京都立大学大学院英文学専攻博士課程満期退学
新潟大学文学部教授



●学生に向けて一言

英語教育に37年間たずさわってきましたが、今でも勉強の毎日です。英語学習の意義と楽しさを伝えることが使命と思っています。一緒に勉強しましょう。

ニコラ ハットン (情報文化学科)

担当科目 CEP

経歴 1993年 Glasgow University, Scotland
Bachelor of Education (Hons)卒業
2000年 上越教育大学 Masters in Education (修了)

●学生に向けて一言

"My main area of research interest is in gender and education. I have researched about gender and communication in the primary school classroom, and gender and mathematics education in secondary schools, both in the UK and in Japan. As I teach in the Communicative English Program, I would like to raise student awareness to issues surrounding gender differences and English communication."

主な研究分野は、性別問題と教育です。イギリスと日本の両国で、性別問題とコミュニケーションの研究及び数学教育に携わってきました。私はコミュニケーション英語プログラムでは性別に纏わる論争をとり上げたり、また英語によるコミュニケーションができるように育成していきたいと思っています。



教員の活動報告

臼井陽一郎

【海外研究報告】

1)〇二年二月一六日、英国ベルファスト・クイーンズ大学欧州研究所にて、UACES (英国EU学会) 内の研究部会 (Study Group) Constitutionalism beyond the nation state (コーディネーターは Prof. Jo Shaw, Manchester Univ. と Dr. A. Wiener, Queen's Univ.) に参加、論文を発表した。本研究部会は〇〇年に発足し、今回3回目の開催となる。臼井は〇一年の第二回ワークショップ (英国リーズ大学で開催) に続く二度目の参加である。同論文は同ワークショップが編集するWEBジャーナル Constitutional Web Papers 所収の拙稿の短縮版であり、Evolving Environmental Norms in the European Union という主題のもと、EUにおける環境規範の発展過程を法ディスコースと政治ディスコースの相互作用という視点から記述する概念枠組みを提案したものである。今回を含めて過去三回にわたり開催されてきた本研究部会は、英国のみならずアイルランド、ドイツ、ポルトガルなどからも多数の出席者を集めた国際色豊かなものであり、そこでの論文発表は今後の研究者生活にとって非常に貴重なものとなった。

2)〇二年二月、英国マンチェスター大学法学部からHonorary Staff のメンバーシップを与えられるとともに、同月二〇日、同学部の教員セミナーに参加した。同セミナーでは、ジェンダー論の視点をベースにしたEU反差別法の発展に関する研究報告が行われた。授業の合間を縫ってこのような教員スタッフ研究会が随時開催される光景は、英国の大学の当り前の風景であり、大学教員の研究者としての意識の強さをあらためて感じさせられた。

中国社会文化学会主催

シンポジウム「厳復再考-思想の射程と近代中国」
■2001年12月1日

報告題目【厳復と政治学講義】

區建英

本報告は、主として1905年に厳復が行った政治学講義を分析し、次の要点を指摘した。厳復はこの講義で中国の近代国家建設に何を提示したのか。その力点は、国民形成の基礎を民族の均質化にではなく、民族の枠を超えたより普遍的な公共としての法制に据え、多様かつ多元的な社会を統合する国家像を構想することにあった。また、政治的自由を個人の自由に据えることによって、国民総体の自由と呼ばれる国家独立と区別し、民権が内包する専制の意向から「一民之政權」を守りつつ、民智向上による自治を力説することこそ、厳復の政治学講義の要諦であった。

中国社会文化学会主催

シンポジウム「グローバリゼーションと21世紀の中国」
■2001年12月1日

報告題目【改革以後の中国思想界の変化について】

區建英

1978年改革開放政策に転換して以来の中国の思想動向を、体制イデオロギーの打破と、民間知識人の思想変化という二つの側面から分析した。体制制について指摘した点は、1978年の「真理基準討論」を契機として指導者の絶対権威を否定し、真理が個々の国民自らの実践によって検証されるという理念を打ち立てたこと、また、1992年鄧小平の「南巡講話」が象徴するように、社会主義が資本主義かというイデオロギー的思考が打ち破られ、社会の発展と国民の福祉を政策制定の目的とする考え方が確認されたことである。民間側について述べた点は、1980年代の新啓蒙運動を経て、知識人は体制を代弁する性格を脱却し、権力から独立した「公共思想界」が誕生したことである。

學術振興会講演・日本學術振興会講演

結晶加工と評価技術第145委員会・
将来加工技術第136委員会合同委員会
■2002年1月25日

近藤 進

インターネット・TV・動画等の伝送容量増大にともない、基幹回線から加入者回線にいたるまで、光ファイバー化が急速に進展している。この、光ファイバー伝送の光・電気変換や光制御を行うキーデバイスがInPを基板とする長波系(1.3~1.5ミクロン帯の赤外光)の半導体光素子である。これらの素子は、それぞれの高性能化とともに、サイズ・整合性・経済性の観点から集積化(光IC化)の研究が盛んに進められている。本講演では、これら半導体光素子の集積化技術の動向、最新の集積化素子について解説した。

日本マーケティング・サイエンス学会

■開催日:平成13年12月7日
■場所:法政大学

発表題目「ウェブサイトのインタラクティブ性・2」

正田達夫

11月に本広告学会で消費者モニター300名によるウェブサイトのインタラクティブ機能の評価と総合評価との相関の分析を発表した。この発表は、続いて、同時に行なった懸賞募集サイトで募集した調査結果と前回のモニター調査結果と比較して両者の結果がほぼ等しい分析結果から、問題によっては、懸賞募集サイトによる調査も有効であることを報告した。なお、この発表は塚田先生との本学共同研究の一部です。

ライフスタイル研究会

■平成14年4月18日

「企業ウェブサイト調査・インタラクティブ機能の実態、将来性と問題点」

正田達夫

本学共同研究の一部として、13年12月に実施した企業ウェブサイト調査の報告です。消費者が求めているインタラクティブ性に企業がどのように対応しているか、また、ウェブサイトの将来性と問題点は何かを報告し、筆者としての問題解決の提案を行った。

IATEFL

■2002年3月24日

Demystifying Institutional Practices

グレゴリー・ハドリー

Three approaches to the teaching of English for Academic Purposes (EAP) are identified, the Critical approach, the Pragmatic approach, and the Critical Pragmatic approach.

After explaining the strengths and weaknesses of these approaches to Academic Writing in British Universities, a number of activities are discussed that can help teachers prepare their students for post-graduate study and research.

大学に行こう！

新潟国際情報大学では、高校生の君たちを迎えるイベントがいっぱい。
さまざまな角度から、NUISを体験してみよう

見る見る 膨らむ 夢への一歩

NUIS 進路研究セミナー

進路は決まった？NUISで大学進学について考えて見ませんか？

■開催日 平成14年5月18日(土) 11:00～15:25

■予定スケジュール

11:00～11:50 「進路について考えよう」学外有識者による講演
11:50～12:35 昼食
12:35～13:45 「大学ってどんなところ？」パネルディスカッション

13:55～14:25 入試結果速報報告
14:25～15:25 「NUISの魅力を語る」パネルディスカッション
※昼食は学生食堂にて無料提供します。ぜひご試食ください！

新潟国際情報大学 OPEN CAMPUS オープンキャンパス

■平成14年7月27日(土)、10月5日(土)
10:00～15:30

■CONTENTS

- 学部・学科紹介
- 入試情報の説明
- 入試問題の傾向と対策
- 模擬講義
- コンピュータ実習
- カリキュラム、履修説明
- 入試個別相談
- 海外留学相談
- 就職相談
- 在学生による何でも相談

※昼食は学生食堂にて無料提供します。ぜひご試食ください！

大学ではどんなことを学ぶの？NUISの特色ある講義を体験しよう！

NUIS-LIVE

～国際化・情報化を体感～

■8月20日(火) 10:00～16:00

情報システム学科、情報文化学科、両学科共通の15講義を開講します。

平成15年度 入学者選抜試験概要(要約一覧)

◎詳細は募集要項でご確認下さい。

| 入試区分 | | 募集人員 | | 出願期間 | 試験日 | 試験地 | 試験実施教科・科目 |
|------|----------------|--------------------------|-----|----------------------------|---|----------------|---|
| 推薦 | 高校長推薦 指定校制 | 情報文化学科 10 情報システム学科 20 | 30 | 14.11.1(金)～ 14.11.11(月) | 14.11.17(日) | 新潟 | 本学が指定校と定めた高校長あて推薦依頼を行います。 |
| | 高校長推薦 公募制 | 情報文化学科 30 情報システム学科 35 | 65 | | | | 面接・小論文 学力推薦要件:全体の評定平均値4.0以上 又はいずれか1教科の評定平均値が4.2以上であること。 |
| | 高校長推薦 スポーツ | 情報文化学科 情報システム学科 | 若干名 | | | | 面接・小論文・基礎体力テスト |
| | 特別選抜社会人 | 情報文化学科 情報システム学科 | 若干名 | | | | 面接・小論文 |
| 一般 | 前期 | 情報文化学科 35 情報システム学科 60 | 95 | 15.1.7(火)～ 15.1.24(金) | 15.2.3(月) | 新潟 上越 東京 | ・国語:国語Ⅰ・国語Ⅱ(いずれも古文・漢文を除く) ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ(数学は、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択 |
| | 大学入試 センター試験 | 情報文化学科 15 情報システム学科 20 | 35 | 15.2.7(金)～ 15.2.17(月) | 15.1.18(土),19(日)の 入試センター試験を 受験していること。 | | 学科試験を課さず、15年度のセンター試験の成績で判定。 全教科の中から2教科2科目選択 配点:各教科100点 3科目以上受験した場合は高得点の2教科2科目を合否判定に使用 |
| | 後期 | 情報文化学科 10 情報システム学科 15 | 25 | 15.2.24(月)～ 15.3.5(水) | 15.3.10(月) | 新潟 | ・国語:国語Ⅰ・国語Ⅱ(いずれも古文・漢文を除く) ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ(数学は、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択 |

●入試に関する問い合わせ先

新潟国際情報大学学務課 〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 電話(025)239-3111 FAX(025)239-3690

2002FIFAワールドカップ™で、ボランティア活動を行います!!

5月31日から6月30日まで、日韓共催による2002FIFAワールドカップ™が開催されます。日本国内10会場のうち、新潟県では新潟スタジアム(ビッグスワン)で、6月1日、3日、15日の3日間、6カ国の代表が熱戦を繰り広げます。

本学では、この世界的なイベントを機に、語学力を活かしたボランティア活動を実施することになりました。当日は、さまざまな国から多くの方々が新潟駅に来られます。そうした方々と案内業務の補助を通じてふれあい、国際交流や外国語会話の実践に努めること、そして何よりも、ボランティア活動に積極的に参加することの重要性を肌身で感じてもらうことが目的です。

参加者を募集したところ、126名の学生が応募。全員がオリジナル・ユニフォームとして、Tシャツを着て活動します。有志らの活躍に、ご期待ください。



活動日時予定

5/31(金) 18:00~24:00
6/1(土) 9:00~24:00
6/2(日) 9:00~12:00
17:00~24:00
6/3(月) 9:00~24:00
6/4(火) 9:00~12:00
6/14(金) 18:00~24:00
6/15(土) 8:00~26:00
6/16(日) 9:00~12:00

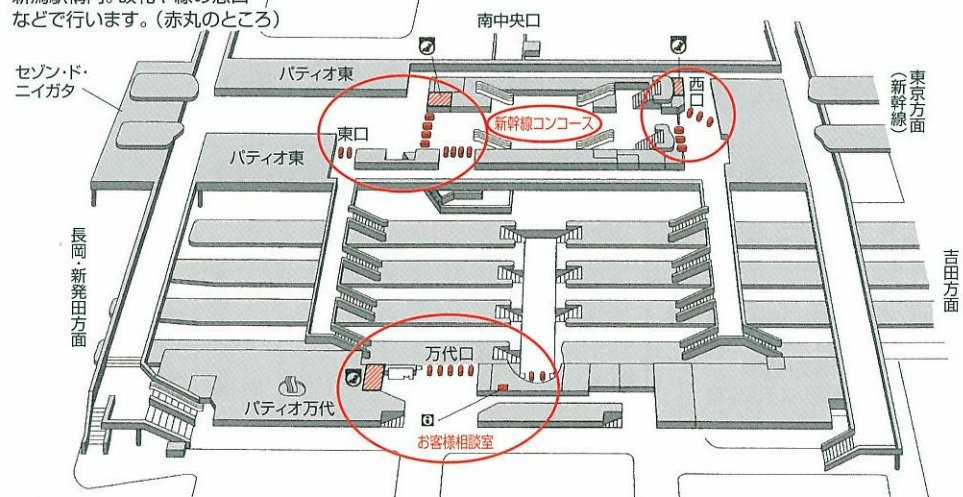
活動内容

外国語での案内補助。



活動場所

新潟駅構内。改札や緑の窓口
などで行います。(赤丸のところ)



湧 YUUGEN 源

編集後記に代えて

広報委員長 正田 達夫

三月二十二日に卒業式があり、二八五名の第五期生徒が社会へ飛び立って行きました。

卒業生にアンケートで「大学の良い点を、後輩や入学希望者に伝えるとしたらどのようなことがあげられますか?」と聞きました。答えの内容です。

第一位「パソコンを自由に使える」

第二位「自由な校風で、自分のやりたいことができる」

第三位「幅広い分野で学べる」「教授に聞ける」など「教育内容の良さ」

第四位「大学が綺麗」と「友達ができる」さらに、「少人数教育」「海外留学ができる」「空気がよい。自然が多い」などでした。

次に、「新潟国際情報大学で良く学べたもの?」という質問には左記のように答えています。

第一位 インターネット

第二位 国際化の理解

第三位 異文化理解

第四位 情報処理演習

第五位 コンピュータと通信

第六位 地域言語

第七位 情報システム

このような答えから、日ごろ大学の目指していることが、卒業生に伝わっている様子が伺われました。

「学ぶことが出来たこと」とともに「学べなかったこと」も調査しており、これは不満ということですから教員一同に披露しました。「顧客満足」という言葉がマーケティングではキーワードですが、大学も学生が満足する教育や環境の改善に努めております。

大学やこの「国際情報」へのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。